

ひしわ園

俳句を楽しむ会

最終回発表

渡辺柳風選
発表の句は平成二十七年三月末締切の句です

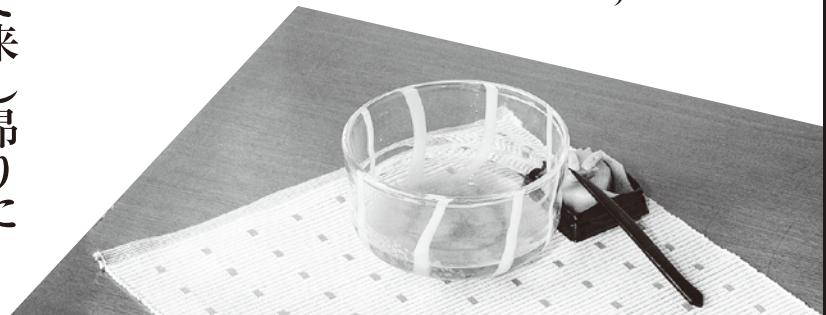
和(なごみ)シリーズは
冷茶としても
お楽しみいただけます

三つの和(なごみ)シリーズ

和(なごみ) きわみ
和(なごみ)
和(なごみ) 抹茶入り



パッケージが変わりました



茶のうまし野を焼きて来し昂りに

(甲州) 赤木しげ子
新草をよく生えさせるために、早春のうちに野を焼く野焼き。
風を伴ったりすると看視が真剣。
消火して帰宅。頂くお茶がおいしい。

穴釣りの氷上で汲む熱きお茶

(甲府) 今村 栄
魚の潜んでいる穴などへ釣糸につけた餌を入れて釣ること。
突然運ばれてきた熱いお茶。おいしい。

雪の中帰りし孫に熱きお茶

(昭和町) 鮎川 梨峯
お孫さんが小学校から降雪を突いての帰宅。
おじちゃんが早速お茶を運んで来る。
「ありがとう、おじいちゃん」。

香る梅寒い外だが茶会良し

(甲府) 高林 征子
客を招き、作法にのっとり茶の会を催す。
満開の梅花の香る木の下で、和む茶会が進んでいく。

淹るる茶の深き緑に淑気満つ

(上野原) 山口 秀子
お茶会でもあろうか。
淹るるお茶の殊の外緑の色が心地よい。

佳作

茶を汲みて遺影の母と春の宵 (甲府) 三枝 春香

受験子の睡魔払はん紅茶汲む (天月) 武川 幹雄

入嫁の香りの高き初茶かな (山中湖) 堀内 弥生

頬を撫で茶技競はむ茶摘み婆 (身延) 小林 利典

茶をすする庭師の肩に落ち椿 (甲府) 橘田 泰昭

緑茶の香冬の暮らしを潤せり (上野原) 天野 昭正

冴え返る夢を抱きて茶を汲めり (甲府) 三枝 風樹

棟上げ日老頭領の汲む晴れ茶 (甲斐) 小田切福太郎

四季問わず心休まる時の窓 (甲府) 小野 陽子

年四回お茶の俳句を考える (笛吹) 植松自由人

今回をもちまして菱和園俳句を楽しむ会を終了させていただきます。
また、今回の発表がたいへん遅れましたことお詫び申し上げます。
そして、長い間投句を続けていただいた皆様方に感謝しますと共に今後のご活躍をお祈り申し上げます。

味と香りのコミュニケーション



本店 山梨県甲府市太田町四一七 ☎055-235-0006
TEL:055(235)5075
直売店 太田町本店 湯村店
山交店 リバーシティ店